

# 取組事例 官民連携による安定した雇用の創出や新しい人の流れの創出

(津別町)

津別町では、官民連携の推進により、空き家活用による新しい人の流れや、障がい者の働く場を創出し、新たな雇用を生み出すことで定住人口の増加に取り組んでいる。

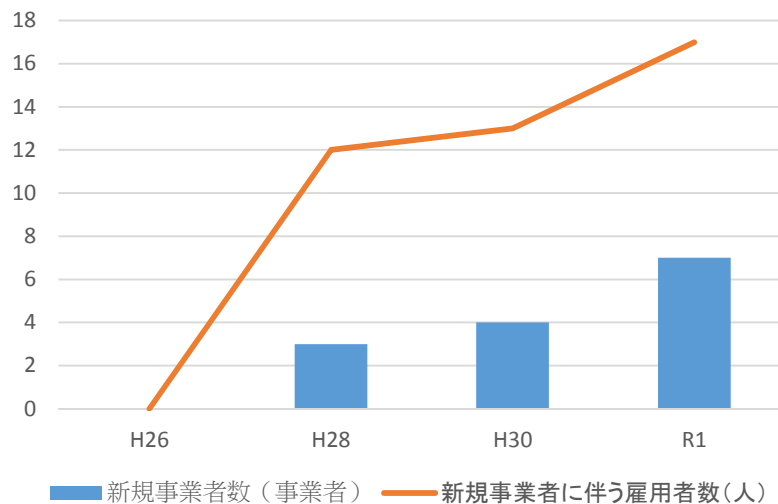
## 関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (R元)	目標値 (R元)	進捗率 (%)
新規事業者の増加に伴う雇用者増	0人	17人	5人	340.0%
障がい者等の地元での就労	2人	7人	7人	100.0%

## 取組の推進体制

役場、社会福祉協議会、農業協同組合、商工会などから構成される「津別町創生総合戦略会議」を立ち上げ、官民の連携により取組を効果的に推進。

## 新規事業者の増加に伴う雇用者増の状況



## 取組事例

— 津別町で働き、暮らしたいと思える活力あるまちづくり

### 官民連携による地場産業振興

#### ○主な取組

地域経済の循環促進と地域外からの外貨獲得を推進し、民間主体の稼ぐまちづくりを実施する民間組織として、「北海道つべつまちづくり株式会社」を設立。

### 障がい者の働く場と生活の場の確保

#### ○主な取組

千葉県船橋市の障がい福祉事業者と連携し、町内に子会社「(株)びーと」を設立。

町内の障がい福祉事業者へサービス拡大支援等の実施や町内の空き家を活用した町内初の障がい者向けグループホームの開所、就労へ繋げる情報収集の場としてカフェ運営を開始。

#### ○主な成果

障がい者等の地元就労人数  
H26: 2人 → R1: 7人



### 空き家活用による新たな価値の創出

#### ○主な取組

空き家活用により新たな価値を創出する「道東エリアリノベーション・プロジェクト・イン津別」を立ち上げ、ゲストハウスとコワーキングスペースの運営者の育成を行うワークショップを実施。

#### ○主な成果

平成31年2月に「起業支援型コワーキングスペースJIMBA」がオープンし、多くの人的交流を創出している。

